


学 校 名	一宮市立奥中学校	学校No.	61
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校では、「学びあい・認めあい・輝きあい」を合言葉とし、豊かな心の育成を目指した様々な取り組みを重ねてきた。福祉教育においては、体験活動や講演会等を通じて、多面的な見方・考え方ができる生徒の育成と、社会貢献の喜びを感じられる生徒の育成を重点目標として取り組んできた。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) エコキャップ回収活動 各学年の昇降口にペットボトルキャップの回収ボックスを設置し、集めたキャップを発展途上国の子ども向けワクチン購入に役立てているNPO法人に寄付する活動を行った。福祉委員会でポスターを作成して各教室に掲示したり、集まったキャップの数を集計して一覧表に記入したりして、学校全体の意識向上を図った。</p> <p>(2) 福祉実践教室 一年生が、車いす・手話・点字・高齢者疑似体験・視覚障がい者ガイドヘルプの5講座に分かれて活動を行った。どの講座でも、講師の先生の説明真剣に耳を傾け、友達と協力して体験活動を行う姿が見られた。生徒の感想用紙には、学んだことをこれからの生活に生かそうとする記述が多く見られた。</p> <p>(3) 福祉体験教室 希望者を募り、夏休み中に高齢者・障がい者福祉施設のボランティア活動に参加した。参加した生徒は、施設利用者の方と会話をしたり、一緒にゲームを行ったりして、人の役に立つことの喜び、人に必要とされる喜びを深く感じている様子であった。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>一連の活動を通して、生徒の活動の様子はとても表情が豊かであった。事後の感想を見ると、多くのことを感じ取っている様子がうかがえた。福祉教室は、体験することが何よりも有効であると改めて感じた。今後も、生徒ができるだけ多くの体験をする機会を持てるよう、学校全体で計画をしていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立萩原中学校	学校N o.	62
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校の教育目標は、『校訓「礼儀・感謝・責任」の精神を学校教育の全面に生かし、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましく「生きる力」をもった生徒を育成する』である。そして、本年度の重点努力目標では、豊かな心の育成を目指す中で「福祉体験や職場体験、福祉体験ボランティア活動に取り組む」などの目標を立て努力してきた。これまでの経験と反省を踏まえて、「福祉実践教室」に取り組んできた。今年度より、「職場体験学習」を再開し、一部の生徒ではあるが、福祉施設での職業体験を実施することができた。子どもたちにいろいろな活動を通して、様々な体験をさせ、福祉教育の充実を図った。</p> <p>○年間通しての美化活動やあいさつ運動 ○全校での道徳教育や人権教育の取組 ○学校行事「体育祭」や「合唱コンクール」の取組 ○福祉実践教室 ○職場体験学習 ○緑化運動 ○資源回収（年2回） など</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1)花いっぱい運動（チューリップ祭り）</p> <p>潤いのある学校生活の環境づくりの一環として、季節の花を花壇で育てたり、校門付近や各学年の昇降口などにプランターを設置したりした。また、学校行事の際には、会場やグラウンドを季節の花で飾り、緑あふれる学校づくりに努めた。また、毎年秋に、地域の方からチューリップの球根を寄付していただいている。そのチューリップの球根を、1年生が一人1つのプランターに植え、次年度の入学式をきれいな花で飾ろうという取組を実施している。</p> <p>11月中旬 企画委員会及び職員会議で実施内容の検討。 12月初旬 朝のSTに1年生各クラスでプランター作りを実施する。</p>  <p>(2)人権読み聞かせ週間</p> <p>毎年、PTAのボランティアの方々に協力を依頼し「読み聞かせ」を行っている。今年度も人権週間に合わせ、人権に関わる本を紹介したり、本に興味をもたせたりしている。読書を通じて豊かな感性、情操や思考力を育てていきたいと考えている。また、この期間に講師の方をお招きし、人権講演会も併せて行い、人権教育の充実を図っている。</p> <p>10月～ 読み聞かせボランティア募集。 11月中旬 ボランティアの方々との打合せを行う。 11月下旬 全学年各クラスで人権読み聞かせ実施する。</p>  <p>(3)福祉実践教室（1年生）</p> <p>毎年、1年生を対象に福祉実践教室を行っている。一宮市社会福祉協議会と連携し、手話や点字、車いす、ガイドヘルプなどの体験を行うとともに、障がいへの理解を図っている。生徒たちの取り組む姿勢はとてよく、しっかりと話を聞いたり、各講座に真剣に取り組んだりすることができている。</p> <p>9月18日(木) 職員会議で検討。 10月22日(水) 学年会議で検討し活動計画を立てる。 11月10日(月) 「福祉実践教室」についてオリエンテーションを行い、福祉に関する資料を読む。 11月13日(木) 「福祉」や「ボランティア」について、図書館やchromebookを利用し、調べ学習を行う。 11月20日(木) 「福祉実践教室」を開催。 11月27日(木) 社会福祉実践教室・レポートまとめをする。</p>  <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>長期休暇や休日のボランティアの募集に応募する生徒が大変多く、ボランティアに対する意欲の高さがうかがえる。参加した生徒は、ボランティア活動を終わると、充実感にあふれた表情をしていた。その後の生活を見ていると、困っている仲間に手をさしのべたり、まわりを見て行動したりするなど、ボランティアを通して、成長した姿が見られた。また、1年生で実施している福祉実践教室においても、意欲的に活動する生徒が大変多く、日常生活においても、体験的に学んだことを生かそうとする姿が見られた。様々な福祉教育を通して、着実に豊かな心が育まれていると見られる。今後も継続的に、ボランティアや福祉実践教室などの福祉教育を推進し、豊かな心を育てていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和7年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立千秋中学校	学校No.	63
1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）			
<p>本校では、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、心身ともに健康で思いやりの心とたくましく生きる力をもつ生徒の育成を目指している。その一環として、地域の介護福祉施設との連携を図るなど、地域に密着したボランティア活動を意欲的に進めている。</p>			
2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）			
○ 福祉実践教室（1年生）			
<p>毎年1年生が、福祉について学習を行っている。車イス、手話、点字、視覚障がい者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験といった体験活動を行った。積極的に学ぶ姿が見られ、障がいをもった方への理解を深めることができた。その後の総合的な学習の時間で、まとめ学習を行った。</p>			
			
○ 「おもちゃ図書館なかよし」への参加			
<p>夏季休業中に、丹陽校区内にある「おもちゃ図書館なかよし」へ赴き、おもちゃ図書館の体験活動を行った。今年度は、1年生2名の生徒が参加し、おもちゃを整理したり、一緒に遊んだりして、子どもたちとの交流を深めた。</p>			
○ 「青少年等ボランティア福祉体験事業」への参加			
<p>今年度は、「障害福祉サービス事業所あおぞら」に1年生1名、「社会福祉法人たんぼぼ福祉会 たんぼぼ加茂の里」に2年生3名、「社会福祉法人コスモス福祉会 かすみ草」に2年生2名、「障害者支援施設 あすか」に3年生3名の計9名の生徒が参加を希望した。それぞれの施設で利用者の方とコミュニケーションを図ったり、職員の方の仕事を手伝ったりして、デイサービス施設の体験活動を行った。</p>			
3 福祉教育の成果と今後の課題			
<p>各種ボランティアを募集すると、3学年全てから申込みがあり、どの学年においてもボランティアへの意識が見られると感じた。今後も福祉に関する学習を継続的に行っていくと同時に、活動を報告する場をつくり、全校生徒の福祉への意識を高めていきたい。</p>			

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立西成東部中学校	学校No.	64
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>目 標 障害のある人々や高齢者との交流を通して、お互いの良さを認め合い、心豊かな生活を送ることができるようにする。</p> <p>計 画 ・全校生徒で福祉実践教室に取り組む。 ・生徒会を中心にアルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金に積極的に取り組む。</p> <p>推進体制 ・福祉実践教室は、福祉教育担当教師を中心に全校体制で進める。 ・アルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金は、生徒会活動担当教師が中心となって進める。 ・その他、ボランティア活動は、福祉担当教員が中心となり、他の教職員の協力を得て進める。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種ボランティア活動への参加・・・7月22日～8月8日 ・福祉実践教室・・・1月27日 ・生徒会による赤い羽根の共同募金・・・12月10日～12日 ・全校生徒によるアルミ缶エコキャップ回収・・・毎月3日間 ・あいさつ運動へ参加・・・5月20日、21日、11月27日、28日 <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金に取り組むことで、社会貢献に対する生徒の意識が高まった。 ・あいさつ運動に参加し、募金同様社会貢献に対する生徒の意識が高まった。 ・ボランティア活動については、希望する生徒全員が参加できるわけではないため、十分とは言えないが、個人的に参加している生徒もおり、意識が高まっている。 ・来年度も、ボランティア活動に参加する機会を増やしていきたい。 ・福祉実践教室では、講師の先生方の話をよく聞いて、福祉に対する考え方や障害のある方への接し方などをしっかりと学ぶことができた。 			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025年度 一宮社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立大和南中学校	学校 No.	65
-----	------------	--------	----

1 福祉教育の取組（目標・計画・推進体制）

本校では、校訓である「至誠」「自律」「敬愛」の心の育成を目指し、教師・生徒相互の信頼を深め人間性豊かな生徒を育成するためのさまざまな活動を行っている。今年度も、社会福祉への関心を深め、ボランティア精神を養い、実践力を身に付けさせる活動を進めた。

2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

（1）環境美化委員会による校内活動

- 環境美化委員による清掃活動や花壇・プランターに水やりを行う活動を、年間通して実施した。委員会の時間に校内の花壇の整備やグラウンドの草むしり、資源再生回収などを実施した。



（2）社会福祉に対する関心・理解を深める活動

○ 青少年ボランティア福祉体験学習

夏休みに、「高齢者福祉施設 新和楽荘」「障害福祉サービス事業所 だいち」「一宮市萩の里 デイサービス事業所」「おもちゃ図書館なかよし」でのボランティア活動に 11 名の生徒が参加した。「実際に体験してみて、やりがいのある仕事だと感じた」「障害者の人にも強みがあるから、それを理解して支え合おうと思った」「人の役に立つうれしさや達成感を感じ、これからも地域のために積極的に活動したい」という感想が見られた。



○ コスモス祭りボランティア

11月23日（日）に、彦田公園で、コスモス祭りのリサイクルバザーやゲームコーナーのボランティアとして2名が参加した。



○ 福祉実践教室

12月19日（金）に1年生対象に福祉実践教室を行った。講師の先生方を招いて、全体で障害がある方の講話を聞いた。また、手話と点字の講座に分かれ、真剣に体験に取り組むことができ、福祉への関心を高めることができた。体験後は、「日常でも手話を使ってみよう」「障害者の方に優しく声をかけ、手助けしていきたい」という感想が見られた。



3 福祉教育の成果と今後の課題

各ボランティア活動には、多くの生徒が自発的に希望して参加することができた。生徒がボランティア活動に関心をもち、理解を深められるように今後も積極的に働きかけをしていきたい。

